



**ETHTerakoya**

インターネット投票はブロックチェーンによって実現されるか？

# ETHTerakoyaについて

# ETHTerakoyaの目的



- 業界テーマを絞り、課題の深掘り及びブロックチェーンの活用に向けたEthereumへの提案書を作成
- ビジネス・技術・法律など、複数の視点から実用化の文脈に落とし込み、標準化への仕様を作る
- ワーキンググループの深めた内容をもとに、実践型のワークショップを通じてナレッジを広く共有する

## 選定メンバーでのワーキンググループ活動 x ワークショップ(2週に1回の合計6回)

### 技術

- 実現可能性
- 現在の技術的な課題
- 解決アプローチについて

### ビジネス / 法律

- 業界ドメインの課題
- 法律/規則のネックなポイント
- Why Blockchainへの深掘り

## 公開ワークショップ(2~3ヶ月に1回)

- 参加対象イメージ  
ブロックチェーン事業の導入を進めている/可能性がある  
エンジニア・事業者
- ワークショップのゴール  
ブロックチェーン導入可否の判断軸をベースに自分の頭  
で優先度をつけていくことができるようになる

# Ethereum Foundationの支援のもと運営



- 世界最大のブロックチェーン開発コミュニティを持つEthereumオフィシャルチームと連携することで、国内外に情報を発信。
- 業界テーマを深掘りしながら、Ethereumの課題点を明らかにし、ブロックチェーンを活用するために必要な改善を本体にフィードバックする



**ethereum  
foundation**



ETHTerakoya

今回のテーマ

「投票 × ID × ブロックチェーン」

# 背景

## ■ 背景

- ・日本の国政選挙において、投票者及びその管理者の行為の大部分がアナログで非効率な作業である。
- ・新型コロナウイルスによって、行政の効率化にも拍車がかかる中、インターネット投票の実現に対する期待も大きい。



(1)ビジネス：選挙で求められる必要要件

(2)法律：必要な法改正

(3)技術：技術的課題解決



トランプ大統領 郵便投票で“不正起きている” 訴訟辞さぬ構え

2020年11月2日 18時51分 | アメリカ大統領選

3日に投票日が迫ったアメリカ大統領選挙はトランプ陣での票の掘り起こしに全力をあげました。一方、トランプ陣は「不正が起きている」と述べ、不正が起きている訴訟も辞さない構えを示しました。

アメリカ大統領選挙は日本時間の3日夜投票が始まり

最後の日曜日となった1日、トランプ大統領は5つの演説で午前0時を回って翌未明に及んだ集会で「フロリダができる」と訴えました。



# タイムテーブル

18:00~18:05 : ETHTerakoyaについて (クーガー 石井)

18:05~18:15 : インターネット投票の実現にむけて (コラボゲート 栗原)

18:15~18:30 : インターネット投票で考慮すべき点 (アクト 浅井)

18:30~18:45 : インターネット投票を取り巻く法律 (早稲田リーガルcommons 稲村)

18:45~19:05 : インターネット投票のID認証とID情報の信頼性 (日立 長沼・富士通 堀井)

19:05~19:35 : 投票の秘匿性について (クーガー 石黒・コンプス 西村)

19:35~19:50 : 投票の透明性/確認性について (サイボウズ ラボ 光成)

19:50~20:00 : 今後の展開について (クーガー 石井)